

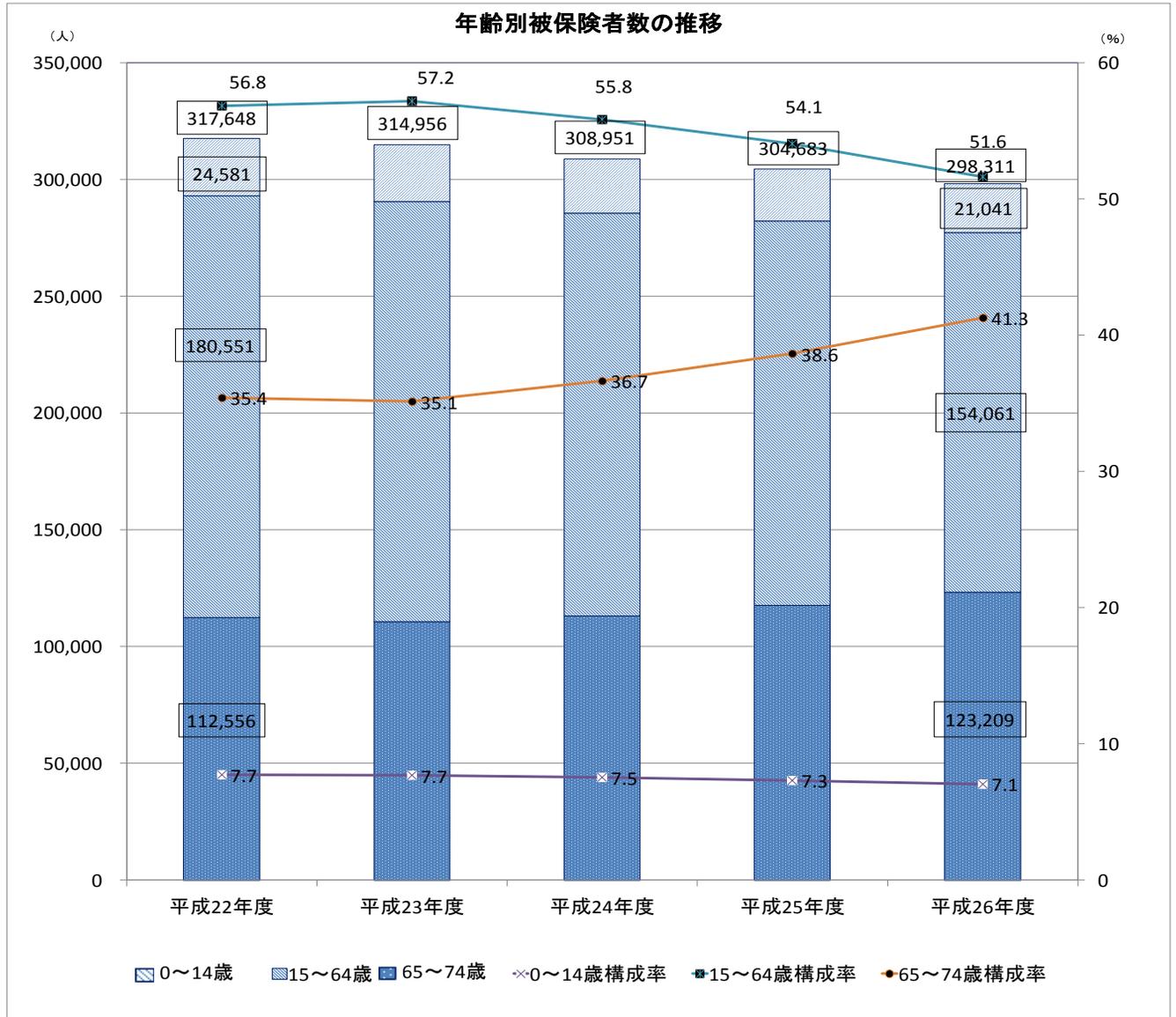
# 市町村国保の現状等

## 目 次

1. 市町村国保の年齢別被保険者総数	.....	1
2. 市町村国保の世帯主の職業別世帯数	.....	2
3. 市町村国保の医療費総額	.....	3
4. 一人当たり医療費	.....	4
(1)全国状況		
(2)県内状況		
5. 市町村国保の保険税負担率(1世帯あたり)	.....	6
6. 市町村国保の財政状況	.....	7

# 1 市町村国保の年齢別被保険者総数

- (1) 被保険者総数は平成26年度9月30日現在、約29万8千人であり、22年度と比べ約1万9千人の減  
 (2) 15～64歳の被保険者数は約15万4千人であり、22年度と比べ約2万6千人の減  
 (3) 一方、65～74歳の被保険者数は約12万3千人であり、22年度と比べ約1万1千人の増



(単位: 人、%)

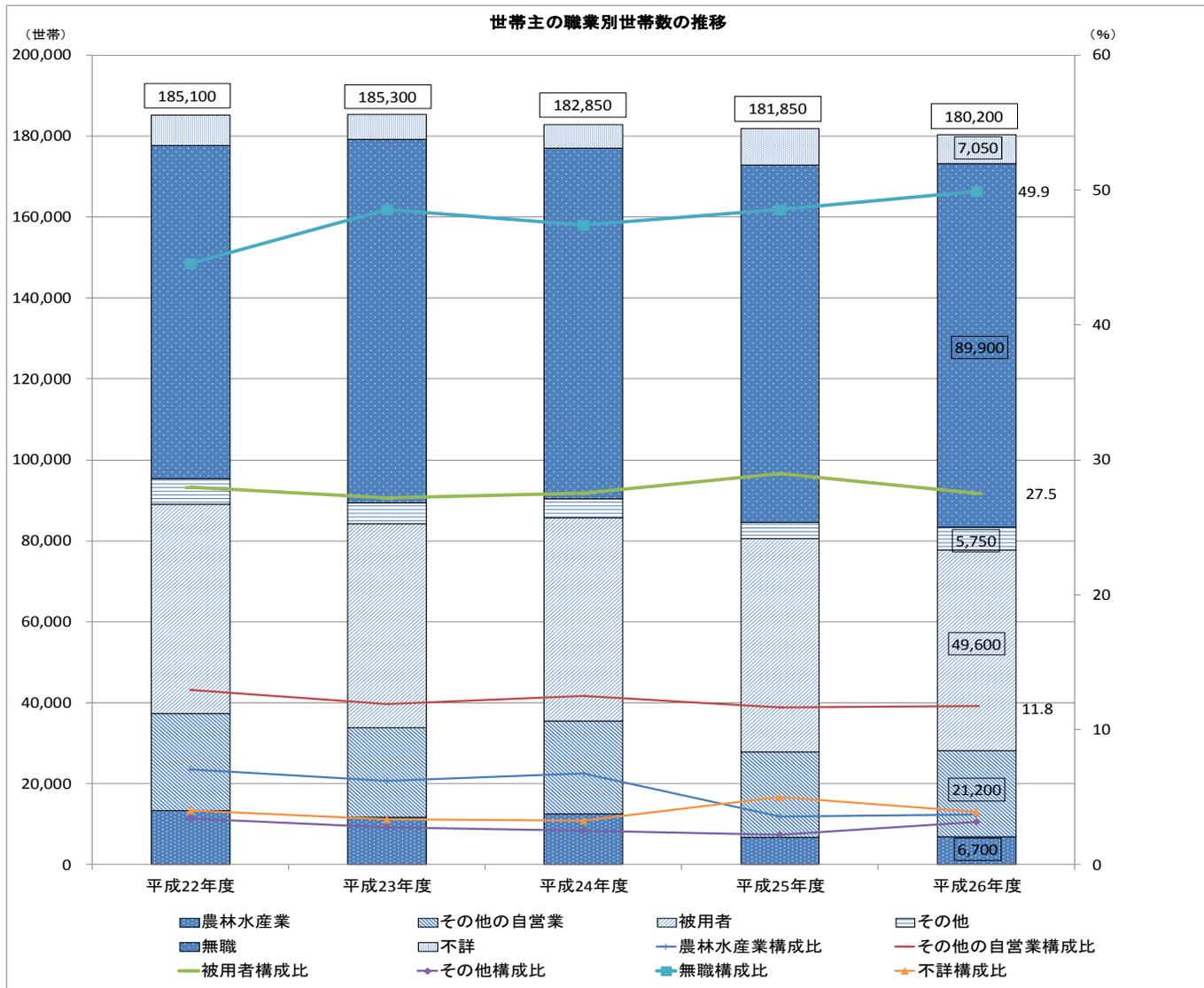
区分	平成22年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	人数	構成率	人数	構成率	人数対前年比									
総数	317,648	100.0	314,956	100.0	△ 0.9	308,951	100.0	△ 1.9	304,683	100.0	△ 1.4	298,311	100.0	△ 2.1
0～14歳	24,581	7.7	24,200	7.7	△ 1.6	23,246	7.5	△ 3.9	22,290	7.3	△ 4.1	21,041	7.1	△ 5.6
15～64歳	180,511	56.8	180,116	57.2	△ 0.2	172,455	55.8	△ 4.3	164,674	54.1	△ 4.5	154,061	51.6	△ 6.4
65～74歳	112,556	35.4	110,640	35.1	△ 1.7	113,250	36.7	2.4	117,719	38.6	4.0	123,209	41.3	4.7
(参考) 国保加入率	26.49	—	26.41	—	—	26.08	—	—	25.84	—	—	25.46	—	—

(注) 1. 厚生労働省「国民健康保険実態調査報告」(毎年度9月30日現在)

2. 国保加入率=国保被保険者数÷県推計人口(10月1日現在)

## 2 市町村国保の世帯主の職業別世帯数

- (1)平成26年度の世帯主の職業で最も多いのは「無職」であり、89,900世帯、49.9%と全体の約半数を占めている。  
 (2)2番目に多いのは「被用者」であり、49,600世帯と全体の27.5%となっている。  
 (3)3番目に多いのは「その他自営業」であり、21,200世帯と全体の11.8%となっている。  
 (4)「農林水産業」は、6,700世帯と全体の3.7%となっており、22年度から減少傾向にある。

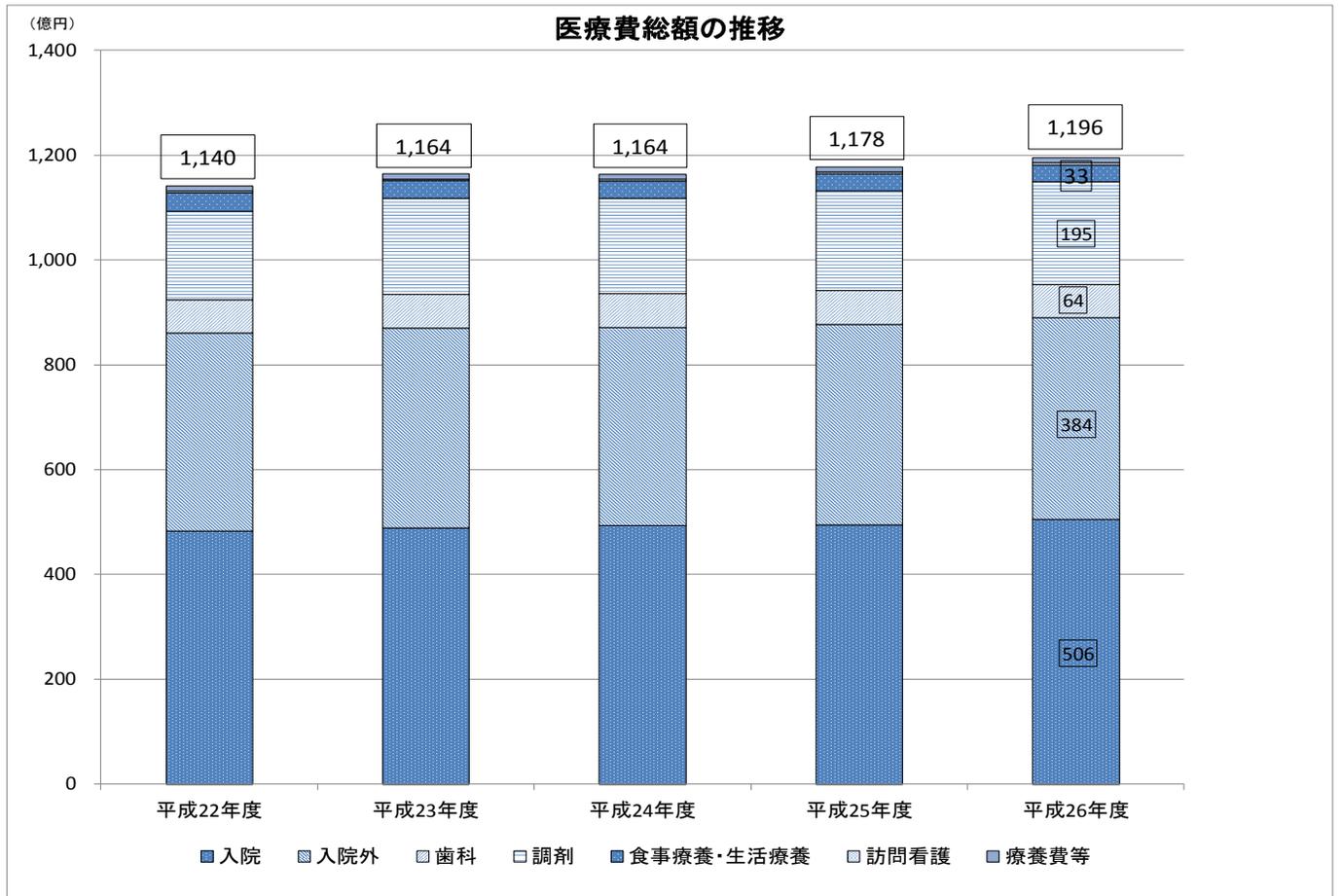


(単位: 世帯、%)

区分	平成22年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	人数	構成率	人数	構成率	人数対前年比									
総計	185,100	100.0	185,300	100.0	0.1	182,850	100.0	△ 1.3	181,850	100.0	△ 0.6	180,200	100.0	△ 0.9
農林水産業	13,100	7.1	11,550	6.2	△ 11.8	12,400	6.8	7.4	6,500	3.6	△ 47.6	6,700	3.7	3.1
その他の自営業	24,000	13.0	22,050	11.9	△ 8.1	22,850	12.5	3.6	21,150	11.6	△ 7.4	21,200	11.8	0.2
被用者	51,750	28.0	50,400	27.2	△ 2.6	50,300	27.5	△ 0.2	52,700	29.0	4.8	49,600	27.5	△ 5.9
その他	6,300	3.4	5,150	2.8	△ 18.3	4,650	2.5	△ 9.7	4,050	2.2	△ 12.9	5,750	3.2	42.0
無職	82,500	44.6	89,950	48.5	9.0	86,700	47.4	△ 3.6	88,350	48.6	1.9	89,900	49.9	1.8
不詳	7,450	4.0	6,200	3.4	△ 16.8	5,950	3.3	△ 4.0	9,100	5.0	52.9	7,050	3.9	△ 22.5

### 3 市町村国保の医療費総額

- (1) 平成26年度の医療費総額は約1,196億円と、22年度より約55億増加(+4.8%)しており、増加傾向にある。  
 (2) 医療費総額のうち、最も金額が多いのは「入院」であり、約506億円と全体の約42%を占めており、増加傾向にある。  
 (3) 2番目に多いのは「入院外」であり、約384億円と全体の約32%を占めており、横ばい傾向にある。  
 (4) 3番目に多いのは「調剤」であり、約195億円と全体の約16%を占めており、増加傾向にある。



(単位: 千円、%)

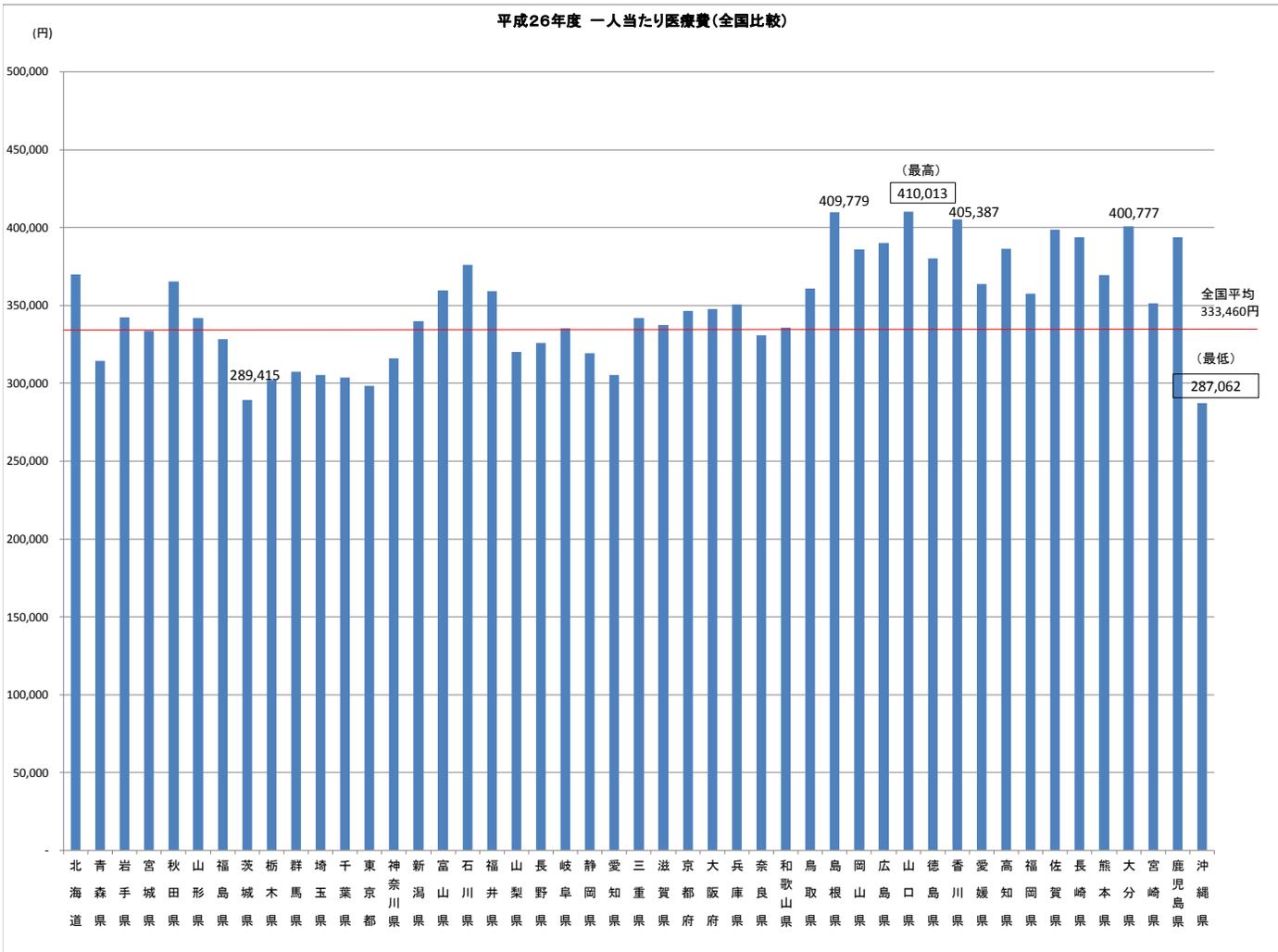
区分	平成22年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
	金額	構成率	金額	構成率	金額対前年比										
総計	114,091,717	100.0	116,415,301	100.0	2.0	116,394,905	100.0	△ 0.0	117,757,596	100.0	1.2	119,563,071	100.0	1.5	
診療費	入院	48,288,397	42.3	48,894,451	42.0	1.3	49,315,287	42.4	0.9	49,417,817	42.0	0.2	50,553,361	42.3	2.3
	入院外	37,744,264	33.1	38,119,154	32.7	1.0	37,817,205	32.5	△ 0.8	38,249,735	32.5	1.1	38,399,342	32.1	0.4
	歯科	6,365,459	5.6	6,424,506	5.5	0.9	6,402,262	5.5	△ 0.4	6,452,059	5.5	0.8	6,421,529	5.4	△ 0.5
調剤	16,970,845	14.9	18,286,910	15.7	7.8	18,238,591	15.7	△ 0.3	19,031,754	16.2	4.4	19,513,231	16.3	2.5	
食事療養・生活療養	3,503,911	3.1	3,423,076	2.9	△ 2.3	3,325,501	2.9	△ 2.9	3,297,697	2.8	△ 0.8	3,282,730	2.8	△ 0.5	
訪問看護	264,926	0.2	288,927	0.3	9.1	370,524	0.3	28.2	398,291	0.3	7.5	456,221	0.4	14.5	
療養費等	953,718	0.8	978,191	0.8	2.6	925,065	0.8	△ 5.4	910,070	0.8	△ 1.6	936,613	0.8	2.9	

(注) 厚生労働省「国民健康保険事業年報」

## 4 市町村国保一人当たり医療費

### (1)全国状況

(1)平成26年度の大分県の一人当たり医療費は400,777円と、全国平均に比べ67,316円高く、全国で4番目に高い。  
 (2)22年度と比べ、40,887円増加(+11.4%)しており、増加傾向にある。



(単位:円、%)

区分	平成22年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	金額	全国順位	金額	全国順位	金額 対前年比									
大分県	359,890	4	369,987	4	2.8	376,407	4	1.7	386,609	4	2.7	400,777	4	3.7
全国	299,333	—	308,669	—	3.1	315,856	—	2.3	324,543	—	2.8	333,461	—	2.8

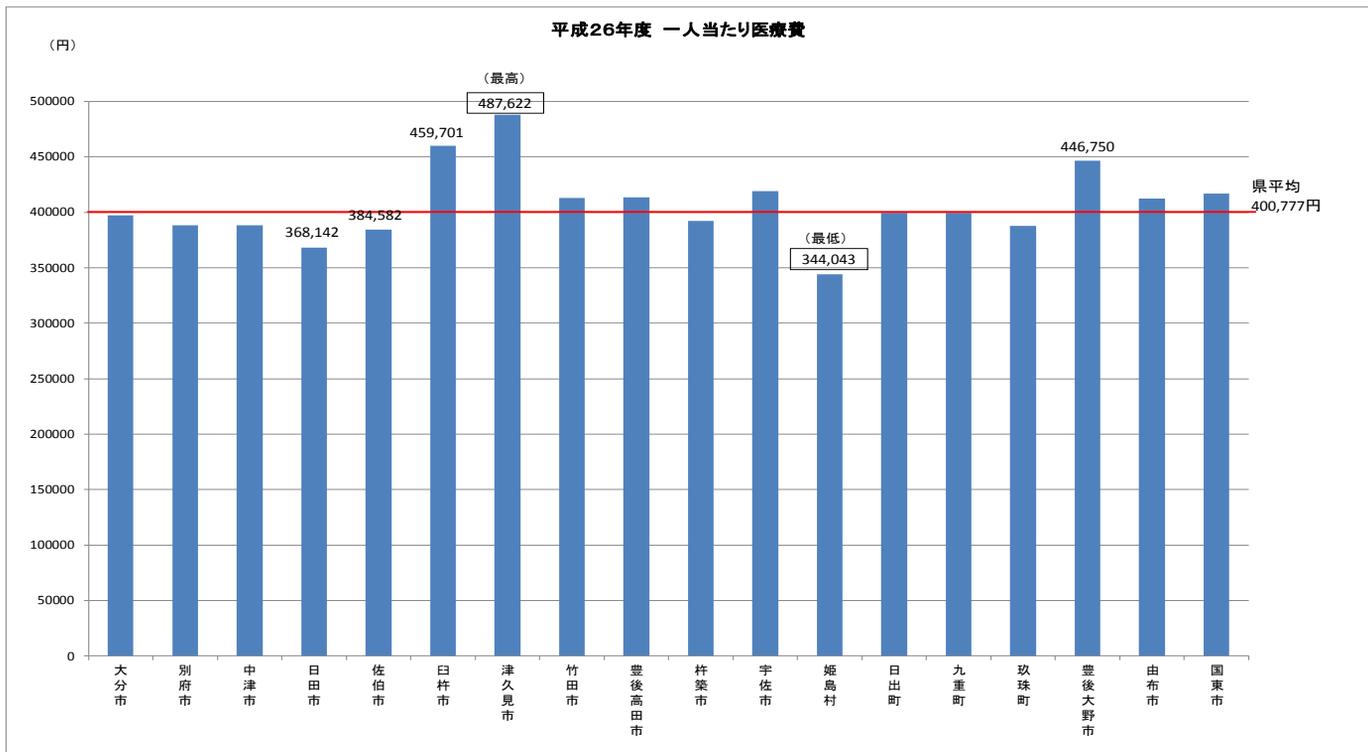
(注)厚生労働省「国民健康保険事業年報」

※全国順位  
 (高い方から)

- 1 番目 : 山口県
- 2 番目 : 島根県
- 3 番目 : 香川県
- 4 番目 : 大分県
- ：
- 4 5 番目 : 東京都
- 4 6 番目 : 茨城県
- 4 7 番目 : 沖縄県

(2) 県内状況

- (1) 平成26年度の大分県内の一人当たり医療費は、津久見市、臼杵市、豊後大野市の順に高く、姫島村、日田市、佐伯市の順に低い。  
 (2) 最高と最低の市町村格差は1.42倍となっており、依然として格差が縮減されていない状況にある。



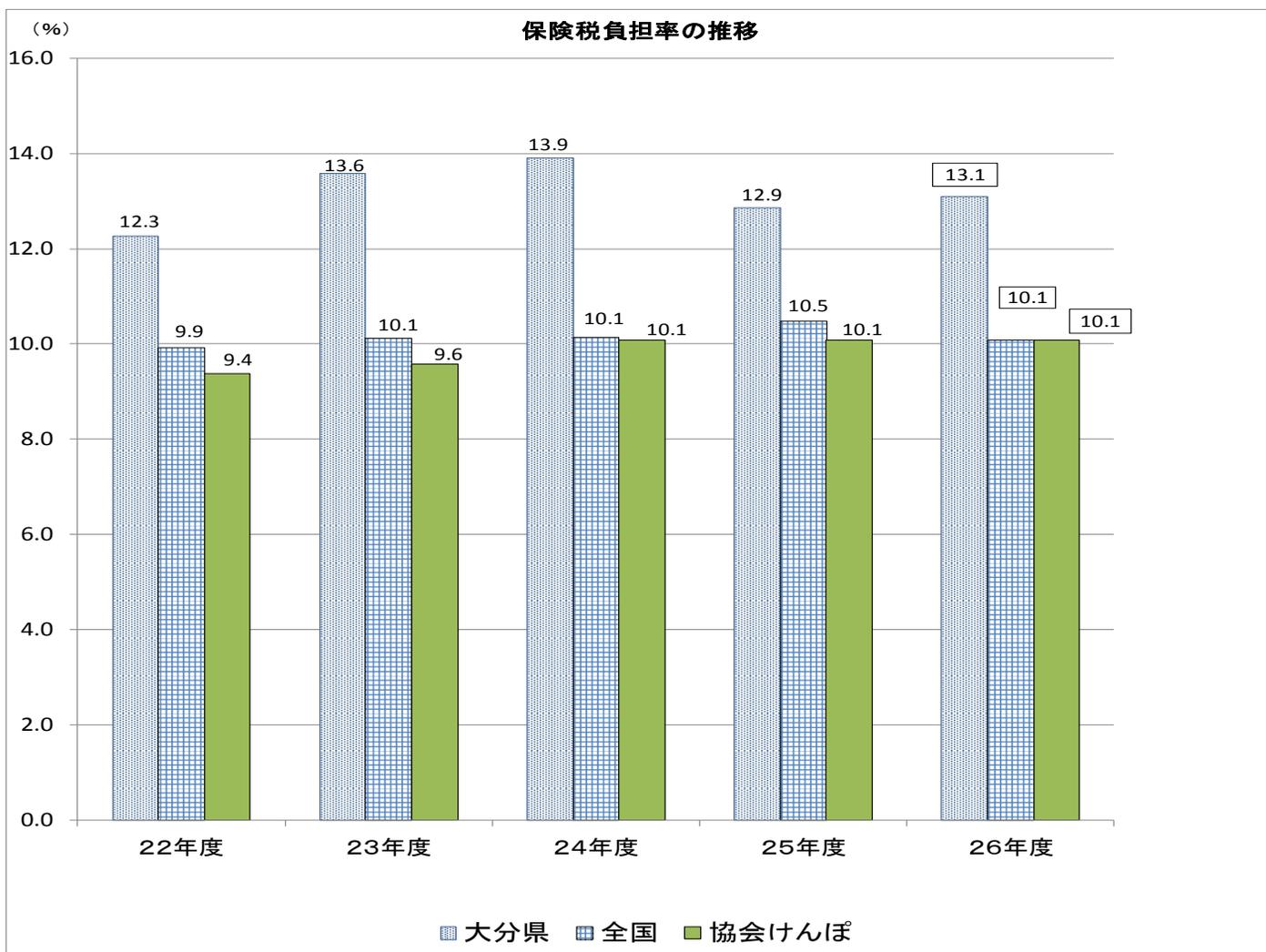
(単位:円、%)

区分	平成22年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	金額	県内順位	金額	県内順位	金額対前年比									
大分市	365,070	10	368,163	11	0.9	374,178	9	1.6	382,862	11	2.3	397,194	11	3.7
別府市	341,415	13	356,474	12	4.4	369,317	11	3.6	387,056	10	4.8	388,182	13	0.3
中津市	342,374	12	352,732	13	3.0	366,760	12	4.0	372,532	13	1.6	388,138	14	4.2
日田市	322,558	16	340,392	15	5.5	339,263	17	△ 0.3	351,256	16	3.5	368,142	17	4.8
佐伯市	326,205	15	344,985	14	5.8	353,306	15	2.4	368,855	15	4.4	384,582	16	4.3
臼杵市	409,407	2	424,049	2	3.6	431,286	2	1.7	449,438	2	4.2	459,701	2	2.3
津久見市	437,678	1	440,352	1	0.6	438,092	1	△ 0.5	455,220	1	3.9	487,622	1	7.1
竹田市	383,023	7	393,321	6	2.7	402,298	6	2.3	406,513	5	1.1	413,024	7	1.6
豊後高田市	394,546	4	408,232	4	3.5	403,058	5	△ 1.3	407,287	4	1.1	413,370	6	1.5
杵築市	367,892	8	373,676	10	1.6	380,155	8	1.7	397,979	6	4.7	392,489	12	△ 1.4
宇佐市	386,233	5	399,675	5	3.5	405,751	4	1.5	392,797	9	△ 3.2	419,225	4	6.7
姫島村	303,747	17	274,885	18	△ 9.5	312,123	18	13.6	305,426	18	△ 2.2	344,043	18	12.6
日出町	366,976	9	385,001	8	4.9	361,345	13	△ 6.1	378,419	12	4.7	399,623	10	5.6
九重町	302,031	18	307,547	17	1.8	352,410	16	14.6	345,020	17	△ 2.1	399,626	9	15.8
玖珠町	327,338	14	338,461	16	3.4	361,132	14	6.7	372,434	14	3.1	387,819	15	4.1
豊後大野市	396,176	3	411,608	3	3.9	415,364	3	0.9	430,158	3	3.6	446,750	3	3.9
由布市	359,218	11	374,644	9	4.3	370,277	10	△ 1.2	395,410	8	6.8	412,386	8	4.3
国東市	385,151	6	392,512	7	1.9	394,028	7	0.4	395,901	7	0.5	417,050	5	5.3
県平均	359,890	—	369,987	—	2.8	376,407	—	1.7	386,609	—	2.7	400,777	—	3.7
最大÷最小	1.45	—	1.60	—	10.6	1.40	—	△ 12.4	1.49	—	6.2	1.42	—	△ 4.9

(注)厚生労働省「国民健康保険事業年報」

## 5 市町村国保の保険税負担率(1世帯当たり)

- (1) 平成26年度の大分県の保険税負担率は、13.1%となっており、全国平均と比べ約3ポイント高くなっている。
- (2) 協会けんぽ(大分支部)と比べても、約3ポイント高くなっている。



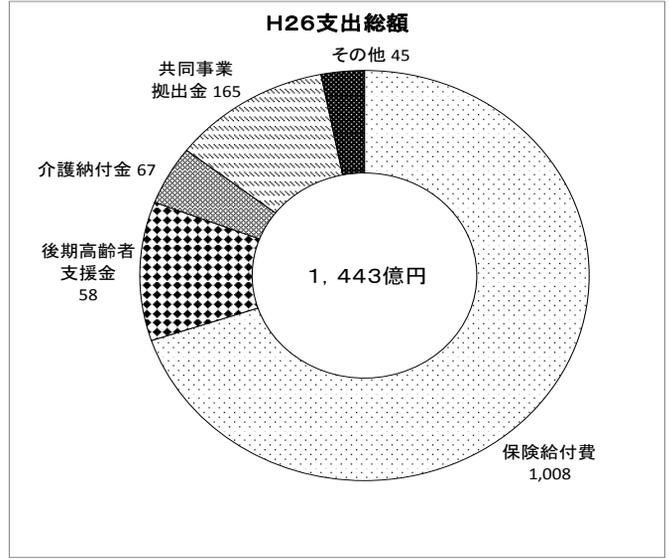
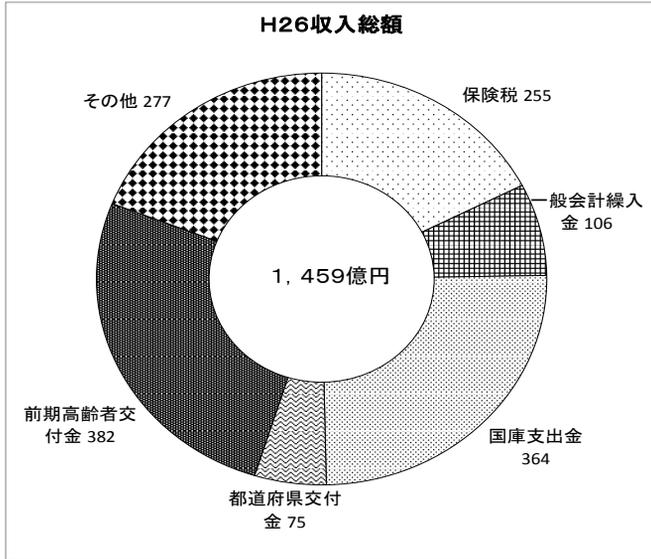
(単位: 円、%)

区 分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大分県	保険料(税)調定額 ①	133,682	139,952	135,326	139,807	142,710
	所得総額 ②	1,090,369	1,031,424	973,265	1,087,144	1,090,672
	保険料(税)負担率 (①/②)	12.3	13.6	13.9	12.9	13.1
全 国	保険料(税)調定額 ①	143,895	143,145	143,362	146,461	145,441
	所得総額 ②	1,450,774	1,415,780	1,416,041	1,399,007	1,443,915
	保険料(税)負担率 (①/②)	9.9	10.1	10.1	10.5	10.1
【参考】 協会けんぽ(大分支部)の保険料率		9.4	9.6	10.1	10.1	10.1

## 6 市町村国保の財政状況

- (1) 平成26年度の「収支差引合計額」は、約16億5千万円の黒字であるが、繰越金や基金繰入金を除く「単年度収支」は約13億6千万円の赤字となっている。
- (2) 収入額で最も多いのは「前期高齢者交付金(約382億円)」、2番目は「国庫支出金(約364億円)」、3番目は「保険税(約255億円)」となっている。
- (3) 保険税軽減や決算補填等のための一般会計繰入金は8億4千万円となっており、平成22年度比で約3億4千万円増加している。
- (4) 支出額で最も多いのは「保険給付費(約1,008億円)」、2番目は「共同事業拠出金(約165億円)」、3番目は「後期高齢者支援金(約158億円)」となっている。

(単位: 億円)



※前期高齢者交付金

65～74歳の前期高齢者を対象として、被用者保険と国民健康保険間の医療負担を調整(前期高齢者の加入割合が多い国民健康保険側の負担を軽減)

※後期高齢者支援金

75歳以上の後期高齢者医療費を賄うための拠出金

※共同事業拠出金

高額医療費について、小規模な市町村の財政基盤の安定を図るため、市町村からの拠出金を財源に、県単位で費用負担を調整

(単位: 千円)

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
収入	保険税	25,710,589	26,183,972	26,403,705	26,202,889	25,462,572
	国庫支出金	36,027,676	36,620,062	33,445,620	34,291,461	36,412,913
	都道府県交付金	5,579,155	5,725,663	7,118,323	7,159,599	7,541,976
	前期高齢者交付金	33,433,111	34,650,438	38,550,154	39,906,384	38,178,132
	一般会計繰入金	9,556,511	9,635,117	9,916,043	10,089,940	10,582,245
	うち、保険税軽減や決算補填目的のための一般会計繰入金	(507,518)	(908,826)	(920,015)	(841,349)	(835,456)
	共同事業交付金	16,769,969	16,964,174	15,764,276	15,469,768	16,540,377
	その他	7,912,304	8,932,064	9,863,731	9,369,920	7,763,466
	小計 A	134,989,314	138,711,510	141,061,852	142,489,983	142,481,681
	基金繰入金	971,259	730,909	288,879	392,562	917,055
繰越金	1,188,092	1,319,962	1,557,001	2,005,049	2,530,851	
合計(収入総額) B	137,148,666	140,762,381	142,907,732	144,887,594	145,929,588	
支出	保険給付費	95,466,924	97,535,972	97,952,365	98,947,585	100,804,598
	後期高齢者支援金	12,766,618	13,844,471	15,319,537	16,065,836	15,835,264
	介護納付金	5,700,446	6,083,342	6,432,190	6,821,796	6,711,401
	共同事業拠出金	16,769,969	16,964,174	15,764,276	15,469,788	16,540,377
	その他	3,343,364	3,810,933	4,374,032	4,076,406	3,951,525
	小計 C	134,213,016	138,238,892	139,842,400	141,381,412	143,843,165
	基金積立金	373,486	627,559	400,067	367,198	435,264
	前年度繰上充用金(欠損補填)	2,294,273	1,082,236	744,329	188,312	0
	公債費	22	42	128	92	134
	合計(支出総額) D	136,880,797	139,948,729	140,986,924	141,937,014	144,278,563
単年度収支差引額 E=A-C	776,298	472,618	1,219,452	1,108,571	△ 1,361,484	
収支差引合計額(収入総額-支出総額) F=B-D	267,869	813,652	1,920,808	2,950,580	1,651,025	